

不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業

心の支援課

1 事業目的

不登校児童生徒の学習機会を確保し、社会的自立に向けた支援のため、市町村と連携した支援体制の構築と、学校以外の場における学習等を評価する仕組みを構築する。

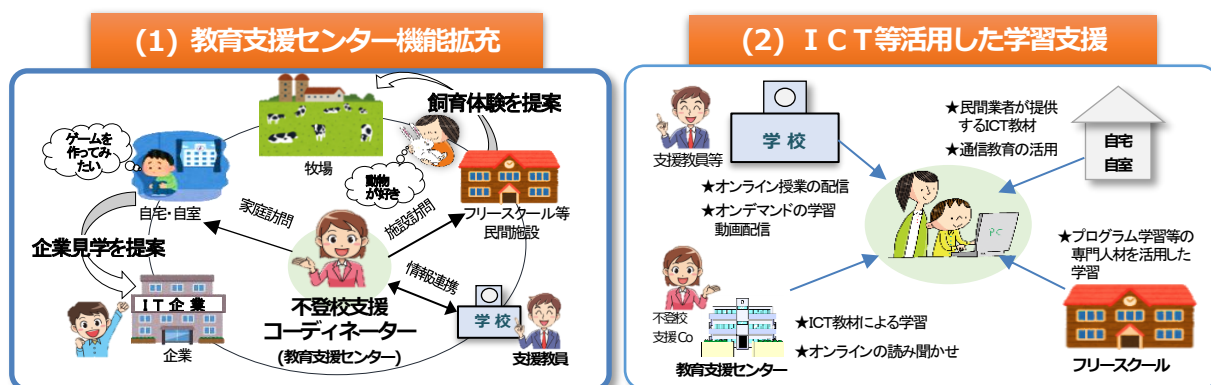
2 事業内容

(1) 教育支援センター機能拡充の取組（4市町教委へ委託）

- 不登校支援コーディネーター※を配置し、アウトリーチによる支援を実施
 - ・家庭やフリースクール等、不登校児童生徒の居場所を訪問し実態を把握
 - ・不登校児童生徒のニーズに応じた学習や体験活動等の企画・提案 等
(委託先4市町：小諸市・千曲市・安曇野市・松川町)

(2) ICT等活用した学習支援（一人一台端末を活用した取組）

- 不登校児童生徒のニーズに合った多様な学習支援の実施
 - ・不登校児童生徒の居場所（相談室、自宅、民間施設等）へのオンライン授業の配信等
 - ・タブレット端末を活用した学習支援 等



※不登校支援コーディネーター：教育支援センター指導員が兼務するなど市町村の実情に応じて配置

(3) 市町村へのサポート体制の整備

- ・市町村教育委員会を対象とした支援の仕組みづくりに関する説明会の開催
- ・市町村が配置する不登校支援コーディネーター等を育成する研修会の開催
- ・教育事務所の「いじめ・不登校地域支援チーム」による市町村へのサポート体制の整備

(4) 「サポートガイド作成委員会」の設置

- ・不登校児童生徒の学校以外の場における学習評価の検討、サポートガイドの作成

3 目指す姿

R3

「不登校児童生徒に対する
学びの継続支援事業」

- ・4市町での実施
- ・有識者等による事業の検証等
「出席扱い」サポートガイドの作成

R4

「不登校児童生徒に対する
学びの継続支援事業」

- ・4市町で事業を継続実施
- ・全ての市町村へのサポート体制の整備
説明会、研修会の実施
- ・「学習評価」サポートガイドの作成 等

R5以降

「市町村へのサポート」

- ・教育事務所設置の「いじめ・不登校地域支援チーム」による助言等

不登校児童生徒が安心して
社会的自立に向かって学びを
継続することができる。

4 令和4年度予算額 349万7千円